



Taskforce on Nature-Related
Financial Disclosures (TNFD)



自然関連財務情報開示 タスクフォース

第6回メディア勉強会
2021年6月8日

WWFジャパン
松田英美子



自然関連における金融セクターの重要な役割

- 金融セクターは、その融資や投資活動を通じて生態系保全と大きく関与しているだけでなく、自然災害によるリスク増大により融資や投資活動に影響されている
- 世界の生物多様性に関する資金ギャップは、2030年までに年間7,220~9,670億米ドルになると推定
- 金融セクターは、資本の配分や、特定のリスクを評価する上で中心的な役割を果たしている一方、自然破壊に内在するリスクを軽視
- 生物多様性の損失の影響が明らかになるにつれ、自然を劣化させる活動を排除し、自然資本の保護と価値を認める方向性が強まってきている。金融機関がリスクと機会の正確な評価を行い、資本の再配分ならびに情報開示が求められている

\$44tn

GDBの50%以上が自然に中・高程度に依存している
(世界経済フォーラム)

Top 3

世界経済フォーラムの影響度の高い分野トップ3に「生物多様性の損失」がランクイン

~\$100-900 bn

CBDの生物多様性グローバルフレームワーク(GBF)による生物多様性保護の年間コスト

83%

野生生物が人類により滅亡
(Proceeding of National Academy of Scienceより)

Top 5

世界経済フォーラムが発表したグローバル・レーティング・リスク・セクターのトップ5に「環境」がランクイン

ダスグプタレビュー: 自然に関連した財務リスクと不確実性の管理 (Managing Nature-Related Financial Risk and Uncertainty)

自然関連の財務リスクは、自然、技術、社会規制、文化システムなどといった複雑に絡み合ったダイナミックなシステムに依存する経路を通じて発生する可能性がある。

金融機関が自然関連のリスクをリスク評価に取り込むことの重要性

- ①自然関連のリスクが過小評価されていると、信用が高リスクの活動に過剰に配分される可能性があるため、持続可能でリスクの低い活動への過少な投資を防ぐためには、自然関連の分析が必要。
- ②リスクを管理することは、金融機関の機能と安定性の中心である。

政策立案者や金融規制当局は、金融機関に対し、自然に関連する金融リスクと自らの自然への影響の両方を体系的に評価するよう求める傾向が強まってきている。



自然関連の情報開示と報告のイニシアティブとして、TNFDについて言及



自然関連の金融リスクカテゴリー

TNFDの正式設立



2021年6月4日 TNFD正式設立と共同議長の発表



David Craig氏

リフィニティブ (Refinitiv) CEO
 ロンドン証券取引所データ分析部リーダー
 前Thomson Reuters Financial & Risk
 business 社長 (現在はリフィニティブに名前を
 変更)



Elizabeth Maruma Mrema氏

生物多様性条約 事務局長
 元国連環境計画 (UNEP) 生態系部門
 副部長



2020年9月 非公式会合発足

- 74非公式会合メンバー
- 非公式の技術専門家グループ
- パートナーグループ (グローバルキャノピー、UNDP、UNEP FI、WWF)
- オブザーバー (政府機関、民間企業、市民社会団)

} Nature
in
Scope



2020年7月 TNFD発足に向けた提案

非公式会合でTNFDの原案を協議、実務策はTNFD公式会合で検討

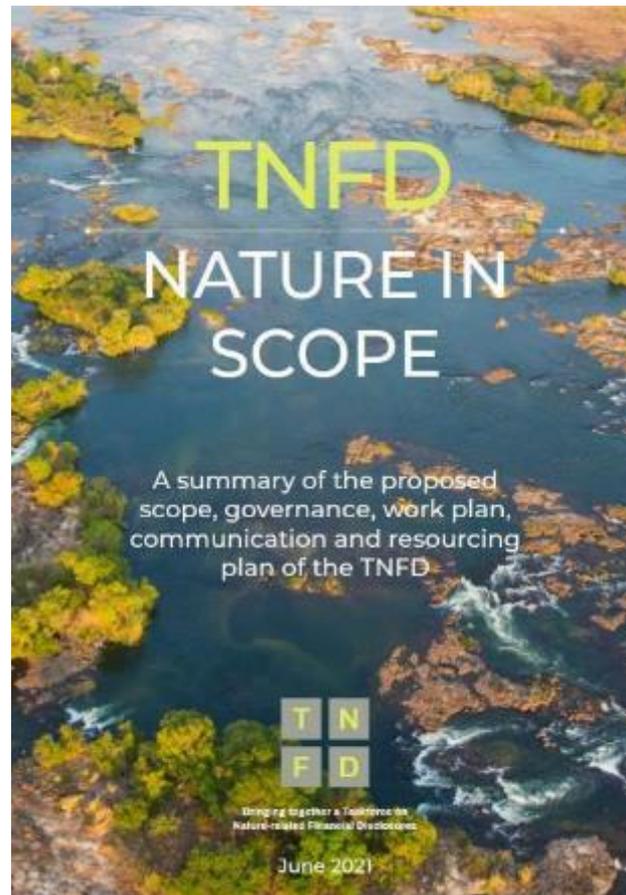
TNFD 目的：

金融機関や事業会社が自身のビジネスの自然への依存度や自然に与える影響を評価、管理、報告するための枠組みを提供
自然関連のリスクを評価したうえで財務上の情報開示を求める世界的な取り組み
自然に負の影響を与える資金の流れを転換させ、自然に良い影響をもたらす（ネイチャー・ポジティブ(nature-positive)）ことを目的としています

非公式会合での議論と取りまとめ、TNFDへの提案

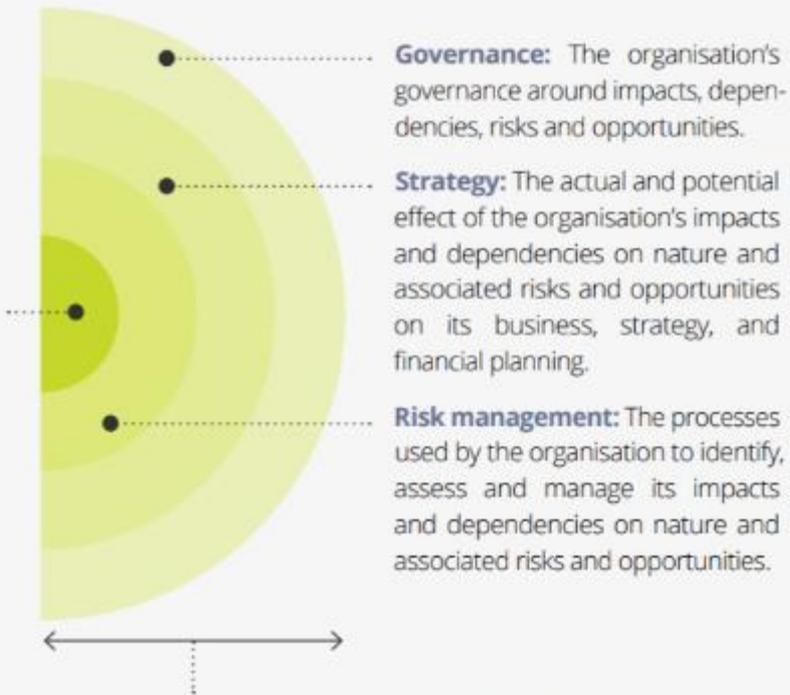


- 原則
- スコープ
- 定義（自然関係リスクと機会）
- TNFD 作業計画
- ガバナンス
- リソースとコミュニケーション



推奨される自然関連財務情報の主要要素 (Nature in Scopeより)

Metrics and targets: The metrics and targets used to assess and manage relevant impacts and dependencies on nature and associated risks and opportunities.



Nature related risks: In each of the above pillars, the organisation must consider its impacts on nature, dependencies on nature, and the resulting financial risks and opportunities.

- ガバナンス
- 戦略
- リスクマネジメント
- メトリックスとターゲット
- 自然関連リスク

自然リスクと機会の定義（Nature in Scopeより）

インパクト：大気・水・土壌の汚染、生態系の断片化や破壊、生息地の変化など、自然に対する正または負の影響である。（SBTNでの定義推奨）

依存性：水の流れや質の調整、火災や洪水などの危険に対する調整、受粉、炭素隔離など人や企業が機能するために依存している自然からの恩恵（SBTNでの定義推奨）

リスクと機会：

- ✓ **物理的なリスクと機会**：急性的影響と、長期的な影響に分類。直接的な損害だけでなく間接的影響（従業員の福利厚生としての生態系サービス、サプライチェーン）も含む
- ✓ **移行リスクと機会**：評判や責任リスクなど、経済的な被害を受けるリスクと、自然への正の影響に報いるような市場の嗜好・要求の変化により、経済的利益と機会につながる。

参考：生物多様性回復のための企業のリーダーシップによるアクション： 国際的なスタンダードとなる生物多様性回復目標設定ツールSBTN活用



SCIENCE BASED TARGETS NETWORK
GLOBAL COMMONS ALLIANCE

気候変動・脱炭素目標設定のグローバルデファクトスタンダードであるScience Based Targets initiative (SBTi) のモメンタムを受け継ぎ、55以上の団体からなるネットワーク



企業のための自然に対する科学的根拠に基づく目標と、気候と自然の両方に対して目標設定のための手法・リソースを提供

自然に関連した世界的な持続可能性の取り組み、UNFCCC, CBD UNCCD, SDGsの下での国際枠組で設定された目標と連携する。

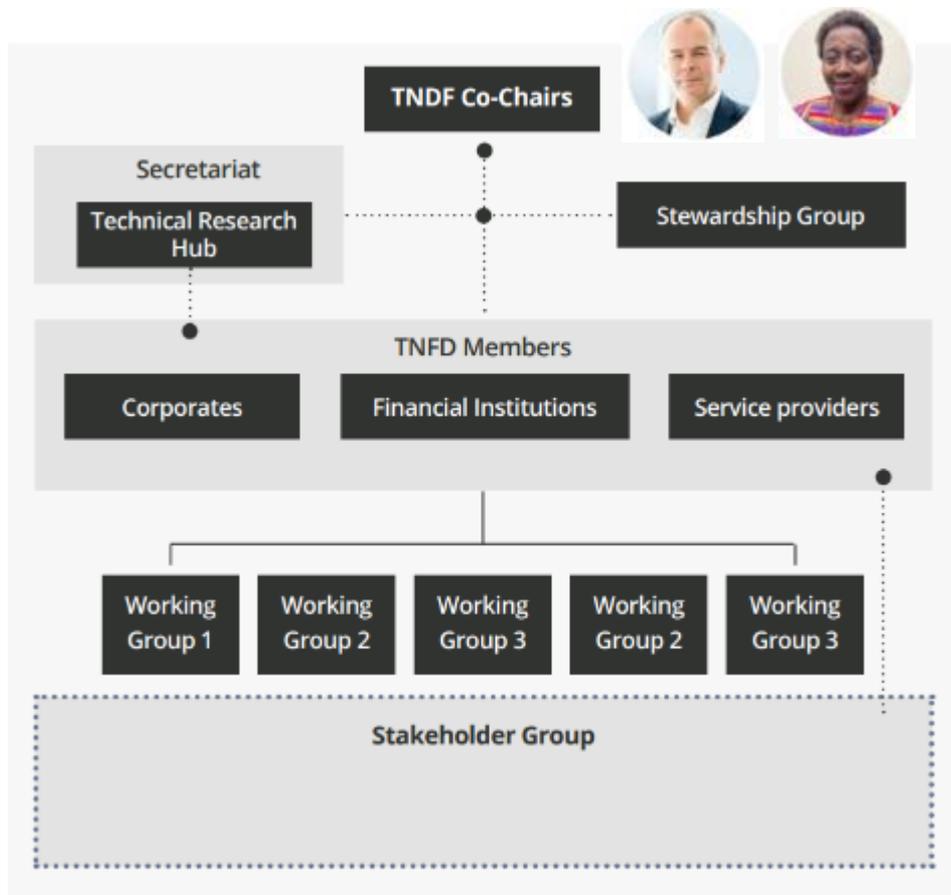
WWFは設立当初からSBTNチームとして関与

担当者：

Chris Weber / Technical Lead & Global Climate and Energy Lead Scientist,
Global Science, WWF

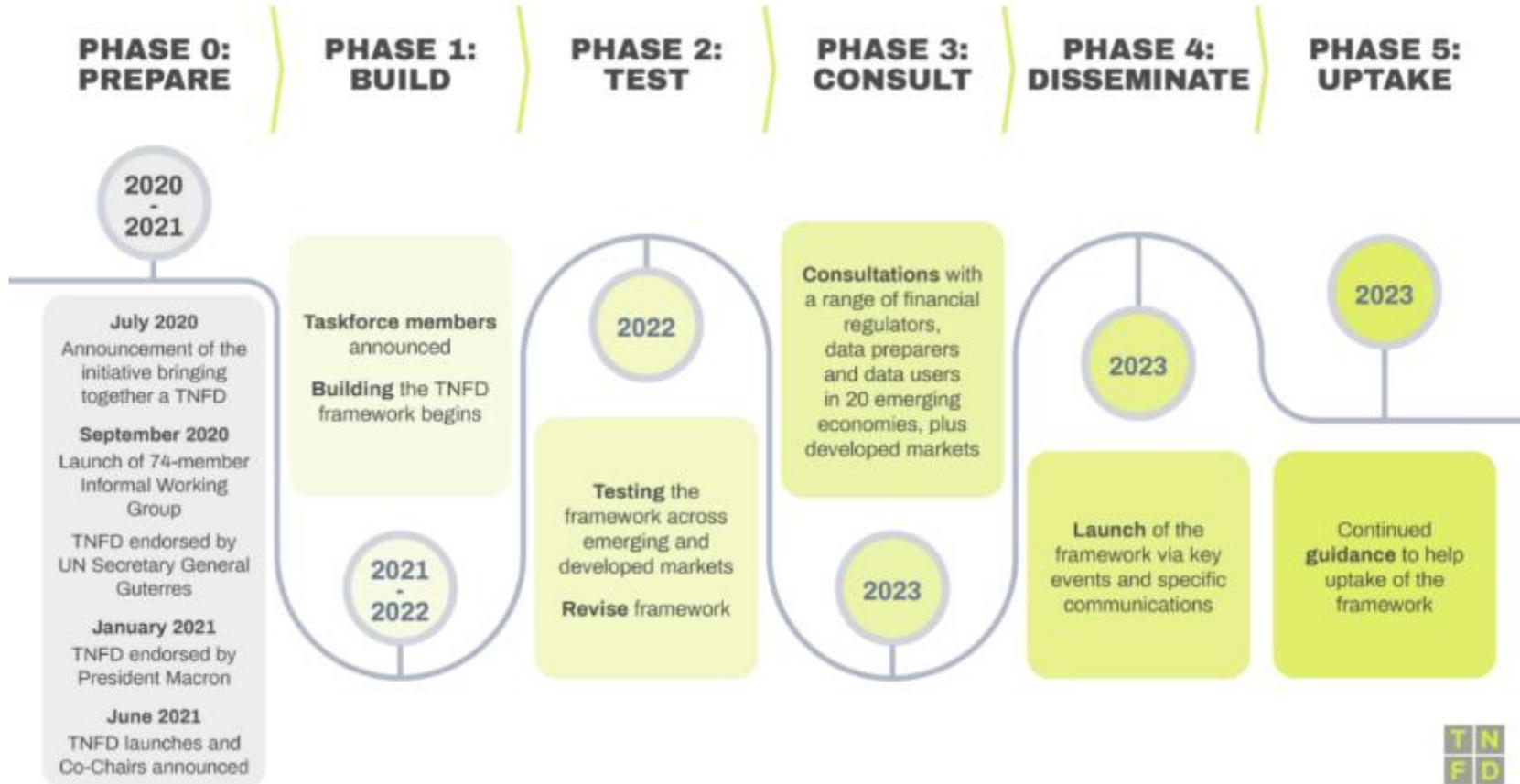
2022年からの本格始動をめざす

TNFDガバナンス構造 (Nature in Scopeより)



共同議長の下で選出

TNFD作業計画 (Nature in Scopeより)



TNFDへ世界からの期待

● 国連事務総長 アントニオ・グテーレス氏

“新しく立ち上がるTNFDは、金融機関がファイナンスを破壊的な活動から自然に基づく解決策へシフトさせるのに役立つだろう”

● 国連気候変動対策特使 マーク・カーニー氏

“TNFDと呼ばれるこの取り組みは、ダブルマテリアリティと呼ばれるレンズを通して自然を見るもので、例えば企業のサプライチェーンへの影響など、自然が組織にどのような影響を与えるかということと、例えば生態系への影響など、組織が自然にどのような影響を与えるかということの両方を扱うことを意味している”

● フランス大統領 エマニュエル・マクロン氏

“気候関連財務情報開示に関するタスクフォース（TCFD）では、民間金融をシフトさせることができた。TNFDでも同様に民間金融のシフトを起こす必要がある”

G7環境大臣会合に続き、G7財務相・中央銀行総裁会議でもTNFDへの関心が示されている。

日本におけるTNFDの理解

次期生物多様性国家戦略（所管：環境省）

次期生物多様性国家戦略研究会

- ✓ 第4回生物多様性国家戦略研究会でTNFDについて紹介
- ✓ 次期生物多様性国家戦略報告書骨子案（第3回研究会～第7回研究会での議論をまとめたもの）

（ESG 金融の進展）社会経済活動への組み込みの促進にあたっては、経済活動における持続可能性の向上や、生物多様性・生態系サービスがもつ多様な価値の考慮を促す正統的政策（税・取引）と合わせ、ESG 金融の進展も求められる。先行している気候変動分野と比べ、生物多様性分野では情報開示や投資家による投資基準への生物多様性の組み込み等が不十分であるものの、**国際的には TNFD の設立に向けた検討が進められる中で、日本においても重点的かつ戦略的に取組を進めるべき分野である。**まずは、ESG 金融進展の土台となる企業による生物多様性保全への取組状況に関する影響 評価や情報開示にかかるガイドラインの充実や投資市場への適切な情報開示を支援する情報基盤の整備が求められる。

農林水産省生物多様性戦略

- ✓ 第1回新農林水産省生物多様性戦略検討会
 - （2）新たに追加すべき論点の整理 にTNFDが挙げられている

TNFD ローンチイベント（6月10日日本時間23時30分開始）



TNFD virtual launch event

Thursday 10 June 2021

9:30am EDT | 2:30pm BST
3:30pm CET | 21:30pm SGT

MODERATOR:
Lara Wong

CO-CHAIRS:
Elizabeth Maruma Mrema, Executive Secretary of the United Nations Convention on Biological Diversity (CBD)
David Craig, CEO of Refinitiv and Group Leader of Data & Analytics Division at London Stock Exchange Group (LSEG)

SPEAKERS:
Michele Edkins, Managing Director of BlackRock
Pavan Sukhdev, President WWF International
Professor Yao Wang, Dean of International Institute of Green Finance (IIGF)
Ulrike Decoene, Chief Communications, Brand and Sustainability Officer

TNFD

For more information contact: [insert contact here]

Visit: <https://tnfd.info>

Twitter: [@TNFD_](https://twitter.com/TNFD_)

LinkedIn: [Taskforce for Nature-related Financial Disclosures \(TNFD\)](#)

<https://www.lsegissuerservices.com/spark/LSEG/events/3ffdad62-72ea-4ce3-8455-ea577fe7a9a6>